

# 大鹿村中央構造線博物館たより 143号



2021年4月発行

TEL: (0265) 39-2205  
staff69@mtl-muse.com

## 2021年度がスタートしました！

2021年度となり、早くも半月が経ってしまいました。新年度になり、いくつかご周知願いたいことがあります。

まず、中央構造線博物館ならびにろくべん館は、先月まで月曜日のお試し開館をしていましたが、4月より正式に月曜日も開館することとなりました。今後は、定休日は火曜日のみ（4月～11月の祝日は火曜日でも開館）となります。まだパンフレットの修正などが追いついておりませんが、順次対応していく予定ですので、よろしくお願いいたします。

次に、3月で、開館以来長年勤務されていた河本学芸員が退職されました。とはいえ、今後も、顧問として、引き続き博物館の監修に当たられます。さらに、博物館が窓口となり、河本顧問自ら解説やガイドをするサービスを有料で始めることになりました。館内だけでなく、露頭など屋外の案内も可能です。事前予約制となっていますので、ご希望の方は、ご相談ください。4月から学芸員の職務は、元学芸員補の宮崎が務めることとなりました。昨年学芸員資格を取得したばかりで、行き届かないところが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、現在博物館とろくべん館の施設改修についての検討が進んでおります。場合によっては本年度中に改修工事や、工事に伴う休館が発生する可能性があるそうです。どうぞご了承ください。（宮崎）

## 南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク 再認定審査の結果、イエローカードとなりました。

博物館たより139号で、昨年11月のジオパークの再審査の様子を載せましたが、2月に結果がでて、イエローカード（条件付き再認定）という結果になりました。

多くの問題点の指摘を受けていますが、中でも事務局体制の強化が求められている点、4市町村の間の連携を密にする必要がある点については、限られた予算、限られた人材、市町村間が離れた立地にある事情から、解決が難しい状況です。そのため、2年後の再認定を目指すのかどうか、南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク構成市町村（富士見町、伊那市、大鹿村、飯田市）の間で協議中です。（宮崎）

